

# COC成果指標と主要活動実績概要（平成29年度 11月暫定版）

－広島大学地(知)の拠点中山間地域島しょ部対策領域－

## I 連携市町・市町の指標

<b>A. COC連携地域</b> 12地域	
	①広島市太田川漁協、②東広島市JA芸南、③東広島市ファーム・おだ、④呉市大長、⑤三次市道の駅ゆめランド布野(大前農園、江の川漁協含む)、⑥世羅町大豊農園、⑦世羅町幸水農園、⑧安芸太田町井仁(棚田)、⑨大崎上島町食文化海藻塾、⑩大崎上島町金原農園(シトラスかみじま)、⑪東広島市安芸津漁協、⑫トムミルクファーム(シバザクラの里乃美、うやま含む)
<b>B. COC連携市町・県</b> 4市3町 1県	
	①広島県中山間地域振興課、②広島市水産課&企画調整課、③東広島市農林水産課&企画課、④呉市農林水産課&豊市民センター、⑤三次市企画調整課&布野支所、⑥世羅町産業振興課、⑦安芸太田町地域づくり課、⑧大崎上島町地域経営課

## II 活動成果指標（活動内容と参加延べ人数）

項目	活動名	内容	延べ参加数	参加内訳	備考
<b>1. 円卓フォーラムの開催</b>					<b>440</b>
	フォーラムの開催	テーマ:地域と学生がつくる地域志向型教育 ～農学系フィールド教育がめざすもの～	440	29年12月7日開催 学生・TA 130×2コマ、教職員30名×2コマ 連携市町・地域 30名×2コマ その他30名×2コマ	調整中
<b>2. 教養ゼミ体験授業の実施（全学対応TA参加）</b>					<b>1,724</b>
	オリエンテーション	体験計画と地域の概要	119	学生104名+教職員15名×1コマ	
	事前学習	体験内容と地域の学習	228	104名+教員10名×2コマ	
	体験授業	外部講師現地講義	195	学生・TA参加者130名(10班)+教職員30名+外部講師35名×1コマ	
		地域指導者フィールド演習	840	学生・TA参加者130名(10班)+教職員30名+地域・市町50名×4コマ	
	ふり返り授業	提案・反省・まとめ等	114	学生104名+教職員10名×1コマ	
	発表会の準備	プレゼン資料作成	228	学生104名+教職員10名×2コマ	
<b>3. 教養ゼミ体験授業発表会の実施</b>					<b>270</b>
	発表会(前半)	前半5グループの発表	135	学生・TA110名+教職員15名+地域・市町10名×1コマ	
	発表会(後半)	後半5グループの発表	135	学生・TA110名+教職員15名+地域・市町10名×1コマ	
<b>4. 秋の体験学習の実施（全学対応教養ゼミフォローアップ）</b>					<b>465</b>
	課外体験学習	1地域	465	学生TA延べ30名×5コマ 教職員延べ3名×5コマ 現地参加20名 現地指導者10名×5コマ その他50名×3コマ	
<b>5. 特別講座の実施（地域講師）全学対応授業&amp;公開講座</b>					<b>633</b>
	講師打合せ	講師との事前調整	26	(講師13名+教職員1名)×打合せ13回	
	ガイダンス	講師紹介・関係地域紹介	33	学生30名+教員3名×1コマ	
	講義	外部講師13名による講義	574	学生70名×7コマ=490名 教員延べ21名 外部講師13名 一般50名	
<b>6. インターンシップの実施（全学対応授業）</b>					<b>903</b>
	ガイダンス	受入地域・学生の心得説明	17	学生140名 教職員3名	
	学生個別指導	研修に当たって知識向上のための事前学習	84	学生14名×1回 学生対応教職員2名×10回 教職員地域調整2名×5箇所×2回 地域市町3×5箇所×2回	
	インターンシップ 現地研修 5地域	5泊6日×6名(2回・箇所) 4泊5日×8名(4回・箇所)	802	5泊6日×6名=30泊36日 4泊5日×8名=32泊40日 学生研修総日数 76日=5コマ数換算 380名 教職員延べ12名 現地指導者2人×6箇所×5コマ×5.6日=310名 市町延べ100名	
<b>7. フィールド演習（授業）の実施</b>					<b>242</b>
	演習	食料社会経済学演習 4コマ	62	学生10名+教員3名×4コマ=52名 地域講師10名	
	体験航海	2泊3日×10名	180	学生10名×3日×5コマ=150名 教員2名×3日×5コマ=30名	
<b>8. 地域貢献・普及活動</b>					
	8-1. 県央商工会(豊栄福富河内)セントレマルシェボランティア			350	
		セントレマルシェボランティア	350	学生20名、商工会50名×5コマ	
	8-2. 大学祭 連携地域マルシェ			60	
		マルシェ手伝い 特産品・地域PR紹介	60	学生5名×3コマ×2日、地域5名×3コマ×2日	
	8-3. 公開講座の開催			1506	
		JGAP勉強会	120	学生100名 地域一般20名	
		地域講師特別講座	50	地域・一般5人×6回 地域・一般20人×1回	
	8-4. 地域からの受託事業			50	
		井仁活性化化学生活動受託事業	50	学生5人×5回 地域市町5人×5回(受託費でのイベント等は上記項目で)	調整中
	8-5. 地域でのワークショップ・卒論発表会			150	
		ワークショップ	90	学生5名×3コマ×3回、地域5名×3コマ×3回	調整中
		卒論発表・説明会	60	学生5名×3コマ×2回、地域5名×3コマ×2回	調整中
<b>9. 地域貢献調査研究</b>					<b>1136</b>
	調査研究	太田川の環境生態調査研究	1056	(教員2+学生8+地域1)×2回/月×12ヶ月×4コマ	調整中
	調査	地域のGAP取組	80	教員1+学生3 5回×4コマ	調整中
<b>10. 連携地域意向調査・教育効果等独自アンケート調査</b>					<b>593</b>
	意向調査	聞き取り調査	300	教職員2名×20カ所×3コマ、連携市町・地域1カ所3名×20カ所×3コマ	調整中
	アンケート調査	学生アンケート	260	調査対象:学生・TA130名×2種	調整中
		教職員調査	13	調査対象:教養ゼミ担当教員	調整中
		市町・地域アンケート	20	調査対象:連携市町・地域担当者	調整中
<b>11. 地域連携活動・会議等（各地域会議等）の実施</b>					<b>80</b>
	地域会議等	連携地域・市町との会議等	80	教職員平均2名×16箇所×1回×1コマ=32名(教ゼミ・インターン系) 地域平均3名×16箇所×1回×1コマ=48名(教ゼミ・インターン系)	調整中
<b>活動延べ総数</b>			<b>7,266 名</b>		

うち学生	4,440	うち教職員	831
うち地域・市町	1,785	その他	210

※調整中等の見込み数値を含みます。数値は授業コマ数換算値です。

## III 活動成果指標(外部発信の回数)

<b>1. 報道・広報実績</b>		<b>8回</b>
	【プレスリリース:7回】 朝日新聞:2回 中国新聞:2回、CATV:4回	
<b>2. その他</b>		
	COC-HPお知らせ掲載数 55回 HP構成ページ数 457ページ(各ページ標題+その記事全てを1ページとして計算)	

## IV アンケート調査指標

<b>1. 教育効果学生アンケート調査結果</b>		
学生へのアンケート調査項目	受講生100人における回答割合	
教養ゼミ(地域体験学習PBL)の満足度	満足:93% 評点:4.5点/5点	
地域や産業が抱える問題発見能力が高まったか	93% が高まった	
地域や学生と協働する能力が高まったか	96% が高まった	
地域課題を解決する行動力が養成されたか	90% が養成された	
体験学習によるPBLの有効評価	98% が有効と評価	
地域貢献・地元就職への意識が高まったか	85% が高まった	